

令和 7 年度 第 1 回 国分寺市地域公共交通会議 議事録

1. 開催概要

○ 開催日時：令和 7 年 10 月 24 日（金）午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分

○ 開催場所：国分寺市役所 会議室 502

○ 委員等：

（出席委員）

鈴木文彦会長、島崎進一副会長、市民委員：鈴木敬委員、西武バス(株)：秦野凌委員、立川バス(株)：佐藤祐浩委員（代理：山中愛生氏）、京王電鉄バス(株)：三浦裕介委員（代理：小出満氏）、トーショー交通(株)山本直幹委員、武州交通興業(株)濱田興紀委員、(一社)東京バス協会：富樫秀樹委員、関東運輸局東京運輸支局：小林聡委員、小金井警察署：並木正彦委員

（欠席委員）

三和交通多摩(株)：山口真委員、立川バス労働組合：土岐雅人委員、北多摩北部建設事務所：榊原元秋委員

（事務局）

古谷交通対策課長、早川地域バス等担当係長、中塩地域バス等担当

（傍聴者） 1 名

○ 会議次第

1 会長挨拶

2 委員紹介

3 報告事項

（1） 日吉町ルート 運行計画の変更について

（2） 北町ルート 運行計画の変更について

（3） 万葉・けやきルート 運行計画の変更について

4 その他

2. 議事

会議に先立ち、議事録作成のため、録音する旨と会議資料の確認を行った。(事務局)

1 会長挨拶

2 委員紹介

今回、国分寺市地域公共交通会議設置要綱を改正した。以前は、要綱第3条第3項の「一般旅客自動車運送事業者の代表者が4名以内」であったために、参加が出来ないぶんバス事業者がおり、意見を伺うことが出来ていなかった。今回、要綱第3条第3項の「一般旅客自動車運送事業者の代表者を6名以内」に改正し、ぶんバス事業者全員が参加できることとなった。改正に伴い、新規で委員となった方、また、人事異動があった方より挨拶いただいた。(事務局)

議事に入る前に本日の出席状況について事務局より報告願う。(会長)

出席状況は、委員14名中、出席者は11名、欠席者は3名。(事務局)

事務局より報告があった通り、委員の過半数の出席を得ているため、国分寺市地域公共交通会議設置要綱第6条第3項により、本日の会議は有効に成立しているものと認める。(会長)

3 報告事項

○ 日吉町ルート 運行計画の変更について

- ・ 資料に基づき、起終点変更及び運行ダイヤの改正を行う理由を説明した。実施時期は令和8年1月5日を予定。(事務局)
- ・ 質問等はあるか。(会長)
- ・ 現状、西国分寺駅東のロータリーで待機しているものを国分寺市役所のロータリーに変更するということだ。利用者の利便性は高くなるだろう。提案の通り進め

させて欲しい。(会長)

○ 北町ルート

- ・ バス停の新設位置及び、運行ダイヤを説明した。実施時期は令和8年1月5日を予定も、北多摩北部建設事務所との協議が本会議後となるため、運行開始日が遅れる可能性がある。(事務局)
- ・ 質問等はあるか。(会長)
- ・ 事前に協議が始められなかったところから、運行開始日が遅れる可能性があるということだ。関係する西武バス(株)、立川バス(株)へはご迷惑をおかけするかもしれないが、よろしくお願いします。(副会長)
- ・ 西武バス(株)の路線はどこ行きか。(市民委員鈴木委員)
- ・ 国分寺駅行きだ。(西武バス(株)秦野委員)
- ・ 立川バス(株)は、国立駅行きのため、利便性は向上すると考える。(副会長)
- ・ 利用予測等はあるか。(東京運輸支局小林委員)
- ・ 要望は非常に多かったため、利用者はいると思うが、予測までは立てられていない。(事務局)

○ 万葉・けやきルート

- ・ ダイヤ改正を行う理由と運行ダイヤについて説明した。(事務局)
- ・ 質問等はあるか。(会長)
- ・ 今回の3つの報告事項について、全て軽微な変更だが、市民への十分な周知はお願いしたい。(東京運輸支局小林委員)
- ・ 承知した、対応する。(事務局)
- ・ 改正のタイミングで新規にバスマップは発行するのか。また、本ルート改正は、他の路線との調整を踏まえて、国分寺市役所での待機時間を増やしたと見て良いか。(会長)
- ・ マップは新規で発行する。他の路線の調整のため、市役所での待機時間を増やした。(事務局)

4 その他

○ 最近の状況について

- ・ 令和7年9月16日に府中、小金井エリアのダイヤ改正を実施した。主に総合医療センターから小平団地間系統を国分寺駅の北口と南口で分け、効率化を図った。本改正に伴い、国分寺駅を跨いで利用していたお客様には迷惑をかけてしまったが、国分寺駅南口から総合医療センター行きは、運行便数を増やすことができ、お客様にとって利便性の上がるダイヤ改正になったと考えている。効率を上げることの背景として、弊社の人員が大変厳しい状況が続けており、昨年度も採用した人数よりも退職者が多いという状況だ。乗務員不足を路線に転嫁してしまうと路線の廃止等になり、お客様に多大なご迷惑をかけることになるので、極力迷惑をかけない運行ダイヤを検討しながら効率化を図って上で利便性を損なわないダイヤを検討しながら運営していきたい。引き続き、他社動向や利用状況を確認しながら、計画を練っていく。

(京王バス(株)小出氏)

- ・ 収入面は、コロナ禍前の指標とされる2019年とほぼ変わらない状況まで戻ってきたなというところだ。特に、2024、2025年は定期券を格安で販売しているところから利用者が非常に顕著についてきて、2024年度は過去最高値の定期券収入売上になり、大分囲い込みが出来てきたかなと考えている。ただし、経費がとてもかかっており、人件費・燃料費・特に修繕費は大変高騰している。バスは、年1回車検もあり、安全面の担保のための点検に多くの修繕費がかかっている。収支で考えると、収入面は非常に良くなっているものの支出が厳しくなっているので、会社としては一進一退と言うか、手放しでは喜べない状況だ。担い手については肌感覚にはなるが、昨年は各社で非常に厳しい状況であったのかなと理解している。今年に入り、新入社員を加え、当社が必要とする乗務員には満たないものの、大分改善されてきたところだ。ただし、全国的に見ても大型2種の取得の4分の3が55歳以上というところから、当社も年齢構成が似ている状況のため、予断を許さない状況だ。引き続き採用活動を続け

ていくと共に、働き方、賃金の面で魅力のある職場にしていけないといけないと同業他社含めて同じであると思う。ただし、働き方を改善するとすると、運賃改定は、今後もせざるを得ないと考えており、今年の 6 月に初めて均一区間の運賃改定を実施したところだ。多摩地区では運賃改定を実施していないものの昨今の状況を踏めると近いうちに多摩地区でも運賃改定をせざるを得ないかなと考えている。話は戻るが、二ツ塚バス停の新設の件について、事前に国分寺市からも入念な調整があったので、概ね了承・承知しているところだが、やはり行き先が西国分寺駅になるので、不安がある。不安点を挙げると、今まで中央線にしか出ることが出来なかったお客様が武蔵野線に出られるようになるので、お客様の逸走の可能性はゼロでないと思っている。運賃が同額だからといって、「官」が「民」を食ってはならないと思うため、我々も二ツ塚バス停のお客様の動向は注意して見守っていききたい。万が一、弊社や立川バス(株)が運賃改定を実施した際は、運賃を合わせていくことは乗合事業として大事なことを考えるので、留意して欲しい。(西武バス(株)秦野委員)

- ・ 10 月 16 日に上水営業所の運行エリアでダイヤ改正を実施し、国分寺市内を運行する昭和病院線においてもダイヤ改正を行った。以前は、1 時間おきに不定期、バラバラな時間で走行していたが、40 分おきや 50 分おき等に定時で出発するダイヤに変更することで、何時にバスがくるとわかりやすくなり、お客様の利便性の向上に繋がっていると考えている。また、担い手不足に対応することを目的に少ない人員でより効率的な運行を目指すということでダイヤ改正を実施した。(立川バス(株)山中氏)
- ・ 我々は、特定旅客運送業を営んでおり、企業、学校や特別支援学校の送迎を中心に契約している。昨年 11 月に神奈川県に相模原営業所を設け、東京都、埼玉県、神奈川県の 3 エリアで業務を行っている。ぶんバスは大変有名で、他の市町村からワゴンタイプの運行でオファーをもらっている。ただし、運転士不足は弊社も課題のため、全てのオファーを受けることは出来ていない。ワンボックスカーでのコミュニティバスの運行は大変 PR になっているので、今後もワゴンタイプのバスを中心に運営していきたい。(武州交通興業(株)濱田委員)

- ・ 弊社は、4月からぶんバスの運行を開始し、7月に3ルートを追加した。9月からは交通系ICも導入し、体制が整ったところだ。この場を借り、御出席の皆様にはシニアカーの乗り入れについて、各社の対応を教えてください。弊社としては、車内も狭いため、方向転換等も困難且つ危険であることから遠慮いただきたいと考えている。(トーショー交通(株)山本委員)
- ・ ぶんバスでは、乗車話を聞いたことがない。路線バスでは、安全面が担保できないため、乗車を認めていない。(京王バス(株)小出氏)
- ・ 弊社も京王バス(株)と同様の対応をしている。
(西武バス(株)秦野委員)、(立川バス(株)山中氏)
- ・ 道路運送法に特段の理由が無い限り、運行事業者は乗車を拒むことが出来ないと規定がある。そうなった際に、特段の理由とは何かだが、旅客事業において、お客様の安全が第一になるので、安全を担保出来ない行為は特段の理由に該当する。今回のシニアカーでの乗車において、運行事業者で安全面に課題があると判断する場合、規定の枠外に該当するだろう。お客様の安全が第一のため、毅然とした対応で今後も運行いただきたい。(東京運輸支局小林委員)
- ・ 我々も乗務員問題は、大きな課題であると認識している。また、昨今は企業間で待遇にムラがあるのかなと考えている。現状、東京都内のバス運転士の平均年齢は54歳である。現状は、運営出来ているかもしれないが、10年後には引退されるため、必ず人手不足になる。バス協会としても課題として、採用のPRを実施しているところになる。(東京バス協会富樫委員)
- ・ ぶんバス運営に日頃から協力いただき、ありがとうございます。皆様のおかげでなんとか運営出来ています。引き続きご協力をお願いしたい。(副会長)

○ 次回地域公共交通会議のお知らせ

- ・ 次回の地域公共交通会議は、年明けの1月を予定。議題は、ぶんバス北町ルートのバス停移設についてとなる見込み。今後、新府中街道が五日市街道まで開通することにより、道路の接続場所近くに設置しているバス停を移設する必要

がある。道路の開通はまだ先になるが、今年度中に協議願いたいと道路管理者より要望を受けている。また、追加で協議の議案等あれば合わせて御願いしたい。(事務局)

- ・ その他、無いようなので、第1回国分寺市地域公共交通会議を終了する。
(会長)